



山形大学
Yamagata University

IR担当者向け実践プログラム 第6期 第6回リアルタイム授業

IR192: IRプロジェクト (2)

山形大学 学術研究院 教授

藤原 宏司

2024.10.19

今日のおおまかなスケジュール

- 13:30 授業開始
- 13:45～15:30 **最終成果発表会**（途中休憩有り）
- 15:30～15:40 休憩（講師陣打ち合わせ）
- 15:40～16:00 分析における考え方の一例（藤原）
- 16:00～17:20 **グループワーク**
- 17:20～17:50 本プログラムからのお知らせ

最終成果発表会



【再掲】 発表シナリオ

- 「**202x年度**大学職員意識調査」のデータと、調査から「**5年経過**」した「**202y年度**」における「**202x年度**大学職員意識調査回答者の在職状況」を分析して、

大学職員意識調査のデータから考える
IR大学職員の退職傾向

というテーマで、**学内SD**の発表を依頼されました。

- **発表時間は15分**です。
 - 「202x年度大学職員意識調査」の**回答結果等を全く知らない職員**へ向けて、発表を行ってください。

【再掲】 最終成果発表会のポイント（1）

- 今回のオーディエンスは、
執行部でもIRオフィスの同僚でもありません。
- **専門知識の無い人達に、短時間で分かりやすい説明を**
心がけてください。
- **全てを説明する時間はありません。**（持ち時間**15分**）
 - **伝えたいポイント**を絞りましょう！（捨てる勇氣）
 - 口頭発表するパート、Appendix（後で見る資料）のパート、
メリハリをつけましょう。

【再掲】 最終成果発表会のポイント（2）

- 発表内容は自由ですが、

「202x年度大学職員意識調査」の
設問2つ以上を組み合わせ、それと
「202y年度」における在職状況と
比較した分析結果

を「3つ以上」発表に含めてください。

設問2つの組み合わせ例

- 役職 & 人間関係への不満
- Q1 & Q2
- 性別 & Q14

（上記例は**適当**です）

→ **在職状況との集計表**を
作ってみましょう

- **表を1つ以上、グラフを2種類以上**、発表に含めてください。
- **データ分析に用いるアプリは自由**とします。
- **発表資料作成に用いるアプリも自由**です。

【再掲】 最終成果発表会のポイント（3）

- 「エグゼクティブ・サマリー」について
 - 発表スライドには、**必ず**「エグゼクティブ・サマリー」が書かれたスライドを含めてください。
 - **スライドの見出しには、**
「エグゼクティブ・サマリー」と記載してください。
 - 「エグゼクティブ・サマリー」の**場所は、**
表紙の次のページとします。（例外無し）
 - PDF等での発表の場合、場所を第1章とします。
 - 最後の「**まとめ**」と内容が重複しても**OK**です。（普通のこと）

【再掲】 最終成果発表会のポイント（4）

- **15～17分**で発表が終わるように、
練習をしましょう！
 - **持ち時間を守る**ことは重要です！
(早すぎもダメ、時間オーバーもダメ)

【再掲】 最終成果発表会のポイント（4）

- 振り返り用に、**みなさんの発表を録画**、Teams上で**期間限定公開**します。
- 提出ファイル名は、以下の様をお願いします。

所属大学名_氏名_IR192発表資料.拡張子

例：山形大学_藤原宏司_IR192発表資料.pdf

(提出ファイルのフォーマットは自由です。)

【再掲】 最終成果発表会のポイント（6）

■ 発表資料の提出期限

2024年10月19日（土） 12時30分

10月19日 土曜日

1第 【最終成果発表会】 IR192_IRプロジェクト（2）用スライド提出
期限: 12:30
IRプログラム2024（第6期）

【再掲】採点基準（100点満点）

- | | |
|-----------------------------|-----|
| 1. 期限内提出： | 5% |
| 2. 提出ファイル名： | 5% |
| 3. 発表時間厳守 ： | 10% |
| 4. 分析内容について： | 30% |
| a. 条件である「3つ以上」の分析結果（10%） | |
| b. グラフや表の種類（10%） | |
| c. 様々な視点でデータを理解しようとしたか（10%） | |
| 5. 専門知識の無い人への配慮： | 10% |
| 6. 発表の分かりやすさ（含：スライド）： | 25% |
| 7. エグゼクティブ・サマリー ： | 15% |

採点シートと最終結果の計算方法

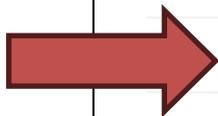
採点項目番号	採点項目	配点	点数	メモ
1	期限内提出	5		藤原の方から、点数に関してアナウンスします。
2	提出ファイル名	5		藤原の方から、点数に関してアナウンスします。
3	発表時間（15-17分）	10		切り上げで計算。1分につき2点減点。藤原が採点。
4a	3つ以上の分析結果が発表に含まれていたか	10		10点 or 0点
4b	表が1つ以上、グラフが2種類以上発表に含まれていたか	10		10点 or 0点
4c	様々な視点でデータを理解しようとしたか	10		採点者の主観で判断してください。探索的データ分析の成果が発表から感じることができたかを中心に採点してください。
5	専門知識の無い人への配慮	10		採点者の主観で判断してください。
6	発表の分かりやすさ（含：スライド）	25		以下の項目等を参考として「総合的に」判断してください。 (a) 話し方 (b) マウスポインターの操作 (c) スライドの見やすさ（1ページ辺りの情報量は適切か、ページ番号が付いているか等） (d) 強調ポイントのハイライト (e) 発表の論理的な構成 (f) データに基づいた考察、等
7a	エグゼクティブ・サマリーの見出し、場所	5		5点 or 0点
7b	エグゼクティブ・サマリーの内容が分かりやすく発表内で説明されていたか	10		採点者の主観で判断してください。

■ **各講師が皆さん全員の発表を採点します。**

■ **最終結果は、各講師の採点から「最高点と最低点を除外」し、残りの点数の平均を取ります。**

発表資料等の場所

1階 一般 投稿 ファイル ▾ 講義動画 (+)			
+ 新規 ▾ ↑ アップロード ▾ 同期 SharePoint で開く 三 す			
ドキュメント > General > クラスの資料 ⇄			
📄 名前 ▾	更新日時 ▾	更新者 ▾	
📁 _シラバス	5月16日	藤原 宏司	
📁 20240418_事前課題#2	4月17日	藤原 宏司	
📁 20240518_グループワーク用_作業後データ	4月23日	藤原 宏司	
📁 20240518_第1回リアルタイム授業	5月17日	藤原 宏司	
📁 20240615_第2回リアルタイム授業 (プレゼン発表会1)	6月13日	藤原 宏司	
📁 20240706_第3回リアルタイム授業 (リベンジ戦)	7月5日	藤原 宏司	
📁 20240803_第4回リアルタイム授業 (WEBアンケート)	8月2日	藤原 宏司	
📁 20240914_第5回リアルタイム授業 (IRプロジェクト1)	9月13日	藤原 宏司	
📁 20241019_第6回リアルタイム授業_IRプロジェクト2 (最終成果発表会)	約 1 時間前	藤原 宏司	
📁 DMA101_DMA環境の構築	5月22日	藤原 宏司	



発表順の抽選



グループワーク

- 最終発表会・DMA102期末テストの感想
- 最終発表会に関する分析の視点・注力点
- 分析に関して、分からなかったこと、質問
- クラスメイトの発表から得た気づき、等



本プログラムからのお知らせ



次回リアルタイム授業について

■ リアルタイム授業 #7

日時：2024年**10月20日（日） 9:00 ~**

科目名：IR192_IRプロジェクト（2）

内容：

- Q & Aセッション
- R Tips（鈴木先生、藤原）
- オフィスアワー

任意参加

「Exit Interview」について

- 本プログラムの**継続的改善を目的とした「Exit Interview」**へ協力していただける方を募集します。
 - 対象者：第6期修了予定者のうち希望する方
(希望者がいない場合は、こちらから指名してお願いをします。)
 - 時期：2024年11月中旬～
✓ 自己点検評価書作成にも必要なので、ぜひ、ご協力を！（11月中に3名）
 - 時間：1時間程度（最終成果発表会における講評等も含まれます。)
 - 希望する方は、チャットかメールで連絡をお願いします。
- 担当：藤原 yu-oire@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

メーリングリスト & Discordについて

- IRプログラム修了生用の**交流の場**を開設しています。
 - 第1期生への「Exit Interview」時に提案されたものを採用
 - **リアルタイム授業におけるZoomアクセス情報**等も配信
- 加入を希望される方は、**メール**で連絡をお願いします。

担当：水戸 yu-oire@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※ チャットでは受け付けることができませんのでご注意を。

Alumni Testimonials（修了生の声）について

- 第5期までは、修了された方による**感想記事**をお願いしていましたが、**必修**となりました。
~~（希望者がいない場合は、こちらから指名してお願いをします。）~~

Alumni Testimonials（修了生の声）

- [第1期修了生の声](#)（立命館大学 大学評価・IR室）
- [第2期修了生の声](#)（東北文化学園大学 IR室）
- [第3期修了生の声](#)（立命館大学 大学評価・IR室）
- [第4期修了生の声](#)（宮城大学 事務局総務課）
- [第4期修了生の声](#)（北陸大学 教務課（兼）IR室）

<https://ir.yamagata-u.ac.jp/activity/program/>

- **匿名もOK**とします。他、心配なことがあったらご相談ください。
- **そろそろ、書き始めましょう！**

プログラム修了日について

- 最終成果発表会（IR192）に**合格**し、
全ての課題を「**2024年11月18日（月） 17:00**」
までに提出、合格された方の「プログラム修了日」は
「**2024年11月25日**」となります。
- 履修証明書の送付時期は、年内を目標としています。
- 履修証明書の**送付先を確認**します。
（事務局水戸さんからの連絡に、ご対応をお願いします。）
 - **職場への送付もOK**です。

今後の講義動画について

- **IR101_IR入門 最終回**
 - 10/21 (月) 作成・公開予定

- **四分位数における複数の定義に関する説明**
 - 「DMA103_Power BI入門」の箱ひげ図に関連して
 - 10/31 (木) or 11/1 (金) 作成・公開予定